

【清水康之さん講演会アンケート】

【別紙報告書2】

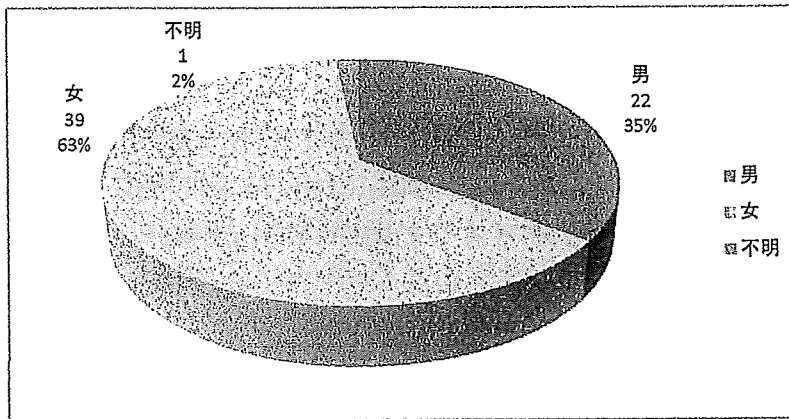
実施状況

2013年11月9日 岩手県水産会館で行われた講演会参加者のアンケート

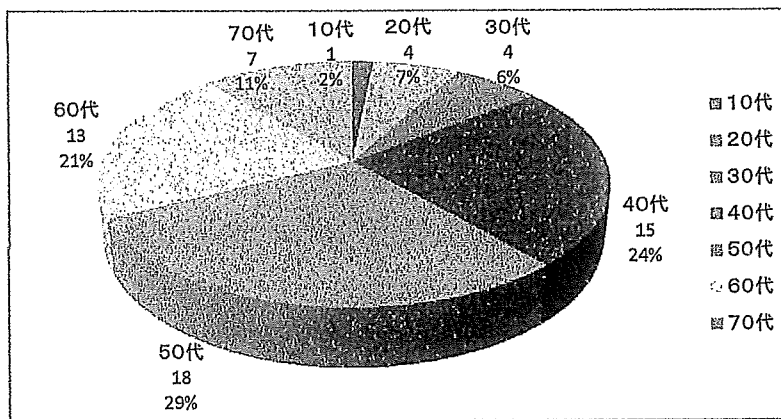
方法 対象者約130名 回答数62名(回答率47.6%)

1, アンケート回答者 男女構成比

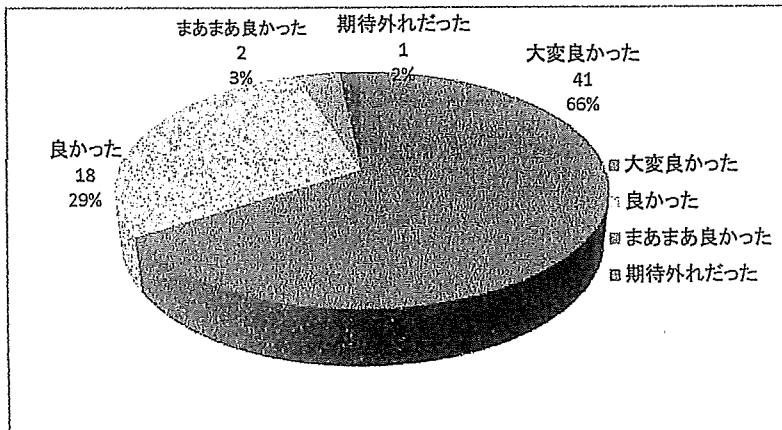
アンケート回答数 全62通



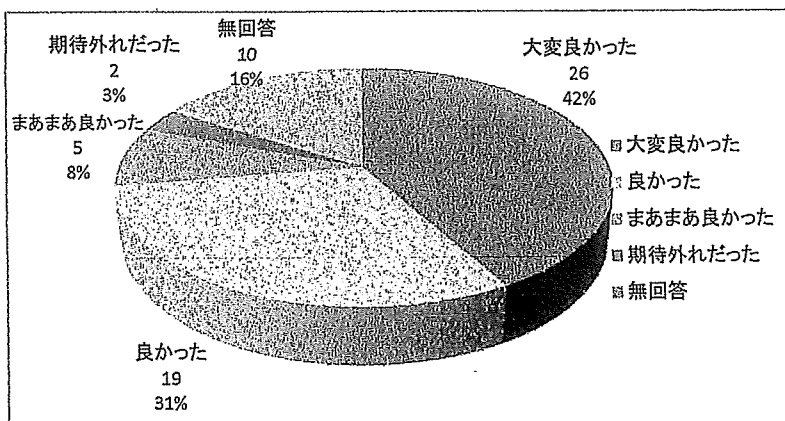
2, アンケート回答者 年代構成比



3, 設問1 「今回の講座について全体的な感想を教えてください。」についての回答



4, 設問2 「第2部のパネルディスカッションについて感想を教えてください。」についての回答



5, 設問3 講演、パネルディスカッションを通じ、実践に活かせると感じたことがあれば教えてください。原文のまま表記

・今回お話しいただいた中で、学んだことがたくさんありました。これらを知ることができたことによって、私自身が悩んだ人に気づけるようところがけられると思うし、その人を窓口へ繋ぐ手助けができると思います。

・ネットワークの意義について

・清水さんの講演で最初の東京マラソンのVTRがショッキングでした。客観的に、1年間にあの人数が自殺するVTRを見て、走っているというより、滝からおちる場面に見えた。自殺の問題点を客観的に知る事によって、相談への道すじが見えてきた。

・想いを同じくする方々の存在

・清水さんの講演は、具体的でいろいろと参考になる点があり、勉強になりました。ありがとうございました。

・他者への思いやり

・あらためて10万人を実感した。ネットワークによる問題の見立てと連携。首長さん達は、そこまで理解できていると思います。優先順位が低い。

・私は、以前傾聴ボラをしていましたが、今は何の組織にも属していません。その私ができることとして、身近な友人関係、職場の中でその人自身のありのままを肯定すること意識して接すること。その人の得意分野に教えを頂く出番づくり(何か集まり?)をしたいと考えます。

・地域のつながりづくり。

・他者への配慮を。

・清水先生の「こころといのち担当」の役割について自分たちの地域に於いてもこころのゲートキーパーとして支援出来るよう研修をしておりますがまだまだ必要なところへの連携が不足していると思われまますので今回の講演を参考にしていければと感じました。

・ネットワークづくり大切だと感じています。地域の居場所一出番も大事です。

・ネットワークの役割。

相談窓口が包括支援の入り口になれるようなネットワークという足立区の実践は今後のネットワーク化のイメージをしっかりとすることが出来た。伴走型支援のひとつとしてのサロン、居場所づくり。このような視点は初めて知った。何ができるか、検討したい。

・人と人、人と組織、組織と組織のネットワークづくり、強化の大切さの自覚と実践を意識することです。

・沢山あった。

・自死する人はほとんどがうつ病になっているかと認識していましたが、平均で4つの要因があって自死に追い込まれることが理解出来た。自死の要因を分析することでその要因を見つけ、様々な機関が連携して対応するその重要性(必要性)がわかった。

・ネットワークの大切さを増々実感した。

・私はこういう場所には悩みをかかえている人がどんどん参加してくれれば少しでも役に立つと思う。たぶん参加者は関係者が多いんじゃないでしょうか。。

・たくさんあった。

・足立区のモデル事業の人材育成、居場所づくり等の参考になりました。

・他の機関との連携。

・これからも連携を心がけて支援していきたいと思いました。
そして継続して支えていきたいと思います。

・地域づくり、他者への配慮、若者の自殺、今後の課題、地域の問題ととらえたい。

・年間3万人を超える方々が自ら命を絶つということは、本当に心痛大、事実です。
社会構造的なとらえ方と、対策へのコスト軽減は、今後より重要になると思いました。

・関係機関で働いている知り合い、友人との関係を生きる支援とのネットワークということで構築できるよう声かけをしてみます。

・個人的に実践できること「他者への配慮」と思います。

・体けん談をひろうてほしかったです。

・自殺対策は経済対策でもあるから、仕事の広がりのための、仕事提供が一番の解決策と感じた。

・おしむらくはちよつと時間が足りなかったです。
面白かったのは、「結局は地域づくり・社会づくりであること」にたどりつくということです。

・情報にとどまらず、実践的講演で大変参考になりました。
これを岩手県、盛岡市に生かせるよう行動したいと思いました。

・行政で自殺対策の担当をしています。
現状をネガティブに考えていると前に進むことができません。
小さいことでも幸せ感を伝えていける活動をしていきたいと思いました。

・相談を受けたとき、一人で抱え込まないで周囲と共有したい。

・なし

・現在、福祉関係の資格取得で勉強しているので
講演やパネルディスカッションの内容がとても参考になりました。

・清水氏の講演は毎回気付きを得ています。
自殺対策は誰にとっても住みやすい社会となるものと思います。
自分の職務の中で多面的な視点を持って携わっていききたいと思います。

・他者への配慮。人とのつながりを大事にする。

・関係機関の連携をぜひ実現せねばならぬと感じました。

・相談できる場所がある事を知って、良かった。

・地域のネットワークづくり(実務者間の連携)

6, 設問4 これからのくらし仕事支援室に期待することがあれば教えてください。
原文のまま表記

- ・今回の講演会のような機会をまた下さるとありがたいです。
また、もっと長い時間、質問の時間をとって頂きたいです。
- ・今後も各分野の先進的取り組みを行っている団体を紹介・講演をお願いしたいです。
- ・もう少し、行きやすい、環境作りをしてほしい。
- ・このような機会をこれからも作っていただきたい。
- ・小集団内のネットワークづくり。そしてそれを広げてゆくこと。
- ・しきいが低く、相談して良かったと思えるかけこみ寺。
地域ではとても心強く、期待しているし、一緒にやっていきたいと思った。
- ・一般市民向けの学習会、シンポジウムを開いてください。
- ・伴走型の支援、とても大変なご苦勞があると思いますが
1つ1つの経験を社会全体に還元できるようなとりくみ、発信をお願いします。
- ・細かい相談を受けていただいて感謝しています。
- ・本室の機能が全県に拡大してほしい。
- ・関係機関の連携の窓口
- ・活動の地域を広げて、多くの人を助けてもらいたい！
- ・学生へのアプローチ強化
- ・開室から、相談者(利用者)の数が増えていく一方かと思われる。
今後も「有って当然」の相談室である事を願う。
- ・私は自殺未遂者ですが、心を入れかえ、自殺希望の方やストレスをかかえている人を助けたいと思っておりますが、資格がないので何も出来ない事がくやしい。なんとかできないのか？
- ・当事者本位の伴走型支援を県全体に広めてください。
- ・行政にはない視点とフットワークの軽さ、人脈を生かし、すばらしい活動をされているなど思っています。
- ・これからも地方での支援を継続して行って下さい。
- ・自殺者数が全国的にも高い岩手県において、関係団体等へのネットワーク連携はより重要なテーマだと思います。
- ・一人ひとりへの負担が大きいです。身体を大切にしてください。
- ・衣・食・住の具体的支援をされることを、支援受けた人から聞いております。心強い限りです。
- ・足立区の方法が全国に広がる事期待してます。
- ・社会的公共活動をしている多くの団体に声をかけ、それらの全員を利用して、抑制策を推進する、具体的実践をまず市が計画するべき。その手助けをするのが、各種団体の存在。

・社会の問題が見える場所だと思しますので、個人情報保護に留意しながら「現在岩手(日本)の問題点」について、社会に向けて発信してもらいたいです。

・24時間の受付・対応をお願いいたします。

・生きづらさを抱えている人たちに向けて、相談へ行ってみようと思えるような考え方生き方をみんなで作られるようなセミナーがあったら参加してみたい
(他者の支援、理解が得られないことも)。個々の幸せに対する意識の持ち方)。

・パンフは、目に付くだけで、配布場所では何も言わない。
何をする所か知らない人が大勢いる。行きづらい雰囲気がある。

・なし

・こういう場を作って頂いて、有意義でした。

・困難ケースを多数抱えていらっしゃいますからセルフ・ケアも大切にしてください。

・ネットワークの確立とセーフティネットの強化により、誰もが支援を受けることが出来る社会を構築していく。

7, 設問5 その他、感想などご自由にお書きください。

原文のまま表記

- ・他者への配慮
- ・今日は大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・福祉サポートの出口として「里山」の取り組みはとても興味深いです。
- ・地域や社会への安心感、今の社会はうすい様に思われる。
自殺対策、さわいでいる割には、何もやってないように思っていたけど、それなりにやっている事を知った。
- ・行政主導のシンポジウムと異なり、伝えたいテーマがあり、それに向かって動いている方々のイベントの迫力を感じました。ありがとうございました。
- ・この場で語られた事が講演にあったように理念から確信の実践へと願うものです。
- ・あたたかみのある社会をつくりたい。
- ・ボランティアの立場ではありますが、少しの出来ることを行っていきたいと思います(傾聴ボランティア)
- ・変な質問はなかったので、印象はよかったです。
- ・若年層の自殺の対策が課題ということがよくわかりました。
これからの自分の生き方を考えるきっかけを頂きました。
海外の事例をうかがうと、日本の今の何か安心感の持てない社会を変えなくてはという気が強くなりました。
- ・ありがとうございました。
- ・自殺対策ネットワークへの経験が被災者へのこころのケア相談にもとても参考になっております。
- ・次回は机のある会場で開催お願いしたいです。
- ・今回の催しに励まされました。
- ・質の高い講演会でした。自殺者0(ゼロ)を目指しましょう！
- ・求職者個別事業を昨年県が実施していたことや、今年は盛岡市が実施していること、これからのくらし仕事支援室の存在を知りませんでした。知見を広げられいい機会になりました。
- ・病院の先生の患者に対しての有り方、先生よりカウンセリング(ケースワーカー)の先生の方がよっぽど役に立つ。先生達とのコミュニケーションを試みるのも良いのではないのでしょうか？もっと、コマーシャル等のメディアでおしえるべきである。
- ・自殺対策のプランは作りましたが、もっと当事者の視点で、もっとアイデアを盛り込んで、自分達の地域オリジナルの活動をしていくことが大切と思いました。
非常に参考になる講演会の企画でした。ありがとうございました。
- ・若年、中高生、特に女子、支援むずかしいとありましたが、思ったことは、「当事者の声をきくことが忘れられているのではないか」ということです。
学校の先生は頑張っていて余裕がない、家族も生活に精一杯となれば誰がその心の内をきくのだろうか、きけるのだろうか。
もっとカウンセラー等専門家の活用を考えてもいいのではないだろうかと思いました。
- ・地域のネットワークが機能するなら全県下で取り組んでいけたらいいと思った。

- ・パネルディスカッションでは、テーマをより明確、重点化して、深い内容にした方がいいと思います。
- ・ゲーム、ネット依存の実態を知りたい。次回講座も参加希望。
- ・清水さんのトルコの話が身にしみました。本質はもっと助け合いの社会になればいいのと思います。又、日報にのせて下さい。
- ・やはり、メモがしっかりできる机が欲しい。市が関与しているのであれば、口頭でスラスラと話した数字をきちんとA4版で出して欲しい。
- ・深刻な状況をかかえながらも、どこにも相談に行けない(動けない)でいる方が少なからずいらっしゃるのですが、国勢調査等から家庭訪問できないものでしょうか。
- ・思っていた内容ではなかった。活動内容の報告ばかりで、実際に相談して問題が解決できるとは思えなかった。「これからの～」名前を知ったこと、存在は意味があると思います。
- ・感謝することや、人に優しく接することなど、できることを取り組んでいきたい。
- ・質疑応答が欲しかった。
- ・なし
- ・以前お世話になった関係もあり、職場で目にしたチラシで参加しました。
- ・内容の濃い有意義な時間でした。県内各地からの参加者があり意識の高さを感じました。これからのますますの発展とご活躍を期待しています。
- ・時間がなくゆっくり書けずごめんなさい。とても良かったです。ありがとうございました。
- ・何でも話せる仲間作りをしていかなければと思いました。ただ、初対面の人とは、むずかしいし、たまに、話す事すらおっくうになる。